

## 世界平和のためにできること

中 三

私は、最近テレビでアフリカやアジアの生活を見ました。アフリカやアジアの一部の地域の生活は日本の生活と違って、とても厳しいもので言葉が出ませんでした。

今、アフリカやアジアの一部の地域では、貧しい生活をしている、「開発途上国」と呼ばれる国々が多く存在しています。開発途上国の問題点はいくつもあります。例えば、飢餓や貧困です。食べ物がなく、小さな子供はやせ細っています。そして、一人当たりの収入が少ないです。これでは当然亡くなってしまいう人も多いでしょう。また、医療も遅れているので、病気にかかったとき、助かる確率が低いのも現状です。

そんな国の人々のために、私は何ができるか考えました。ある日、買い物に行ったスーパーで募金の箱を見つけました。フィリピンの災害募金でした。そのとき、私は買った物のおつりの「百二十円」を箱に入れました。百二十円は私にとって、

そんなに高額ではないし、ジュースが一本買えるか、買えないかほどの金額です。家に帰って、募金について調べてみたらいろいろな種類の募金があることを知りました。中でも、私が気になったのはユニセフ募金です。日本ユニセフ協会は、すべての子供の命と権利を守るために活動しています。

ユニセフ募金の中で、約三百五十円で予防接種ができるご紹介されていました。また、一円で薬が手に入るとも紹介されていました。そんなに安いお金で、すごいことができるのだなと思いました。そして、それに比べて、日本は本当に豊かな国で、自分が生きていく上で必要な物以外も手に入るのだと改めて考えさせられた瞬間でした。そう高くない金額で人の命が助かるのなら、募金したいと思えば、スーパーなどで募金を集めていたら、できるだけ募金するようにしています。また、現在は、インターネットからでも募金ができるので、開発途上国の人々のために募金したいです。

日本で大きな災害が起きたときには、フィリピンなどの海外からも募金が多く集まっています。そのことを知ると、世界は助け合っているからこ

そ、今の豊かな生活ができているのだなと感じます。

また、開発途上国では、私と同じ年齢の子が働いている国もあると聞いたことがあります。教育を受けたいのに受けられず、朝から晩まで働いている子がいることに驚きました。そんな子たちがいる中、教育を受けられている私たちが、「勉強嫌だな。」とか、「勉強したくない。」とかいう言葉を言っているのかなと思いました。

この体験や聞いたことを通して、将来、自分が学んだことを開発途上国の人々にも伝えられたらいいなと思っています。学校の勉強だけでなく、医療のことや、内戦に苦しむ人たちの言葉を聞くなど、できることはたくさんあるでしょう。そんな人になるために、これからも世界に目を向けて生活していきたいです。

「自分にできることは、少ない。」と思う人が多くだと思います。ですが、食べ物を残さず食べることだって、開発途上国の人々を救うことにつながるはずです。行動には移せないこともあると思います。ただ知ることからでもよいのです。そういう生活をしている人がいるということをもっと多

くの中学生に知ってほしいです。同じ地球に住んでいる人間なのだから、助け合うことはとても重要です。世界中の人々が幸せになるために、私にできることを積極的に行っていききたいです。